

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年8月分)

2023年9月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[フェミサイドに対する抗議集会\(14日\)](#)

●[国政与党による会合\(22日\)](#)

●[EU加盟に係る重要法案の採択\(30日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[鉱山労働者の抗議集会\(1日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ドイツによるRS向けインフラ案件の中止\(9日\)](#)

●[BH検察によるドディックRS大統領等への起訴\(11日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[クリシュト閣僚評議会議長のEU・西バルカン首脳会合出席\(21日\)](#)

(2) 二国間関係

●[ブチッチ・セルビア大統領のBH訪問\(3日～4日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[開智日本橋学院高校生徒の日本大使表敬\(1日\)](#)

●[令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「交通・郵便・通信事業従事者のためのサラエボ診療所 X 線撮影装置整備計画」引渡式の実施\(3日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●フェミサイドに対する抗議集会(14日)

14日、首都サラエボをはじめ、BH各地において、女性への暴力及び殺人(フェミサイド)に対する抗議集会が開催された。本抗議集会は、11日にグラダチャツ(BH北部)で、男性が元妻の殺害をインスタグラムでライブ配信し、他2名を殺害したうえ自殺した事件を受けて行われたもの。グラダチャツの事件はBH国内で大きな反応をもたらしており、両エンティティ政府の決定により、8月16日は追悼の日として喪に服すこととなった。

●国政与党による会合(22日)

22日、東サラエボにおいて国政与党による会合が実施され、EU加盟に係る重要法案のBH議会における採択及び空席となっているBH財相及び副首相の任命を迅速に行う旨同意が行われた。

●BH財相及び副首相の任命(23日)

23日、BH下院はスルジャン・アミジッチ氏(パニャ・ルカ大学特任教授)のBH財相任命及びコシャラツBH対外貿易・経済関係大臣の副首相任命を承認した。

●EU加盟に係る重要法案の採択(30日)

22日の国政与党による会合及びその後の閣僚評議会での閣議決定を経て、BH高等司法検察評議会(HJPC)法改正案、外国人法、人権オンブズマン法、情報アクセス法、ワイン市場組織法の5法案に係る審議がBH議会では実施。下院での採択を経て、30日にBH上院において採択された。なお、HJPC法改正案はBH上院において第一読会での採択となり、9月6日に再度審議が行われる予定。

国政与党による合意を経て、EU加盟プロセスにおいて重要となる5法案が採択されたこと

から、当地EU代表部も大きな一歩であるとして歓迎し、汚職対策及び法の支配強化を中心に更なる改革の履行を期待する旨発表した。

(2) エンティティ、特別区

ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●鉱山労働者の抗議集会(1日)

1日、ゼニツァ鉱山の労働者に対する賃金不払いを理由として、BH連邦各地の鉱山労働者が集まり、サラエボ市のBH電力公社前で抗議活動を行った。ゼニツァ鉱山では近年、労働者に対する賃金支払いの遅滞等が続いており、昨年以降複数回にわたりストライキや抗議集会が行われている。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ドイツによるRS向けインフラ案件の中止(9日)

9日、当地ドイツ大使館は、ドイツがRSにおいて実施している4つのインフラプロジェクト(トレビニェ水力発電所改修工事案件フェーズIII及びフェーズIV、フルグド風力発電所案件、グラディシュカ下水案件)を中止する旨発表した。右はRSの分離主義的傾向の高まりを受けて昨年4月に一時停止されていたものであり、以降もRSの過激化が進んでいることから、今般の完全中止に至った。

●BH検察によるドディックRS大統領等の起訴(11日～25日)

11日、BH検察は、本年6月にRS国民議会が採択した上級代表決定のRS官報不掲載に係る法改正はBH刑法203条 a「上級代表決定の不履行」に違反するとして、ドディックRS大統領及びルキッチRS官報事務所長官を起訴する旨明らかにした。

その後、22日、BH裁判所は、訴状における因果関係の説明が不明瞭であったとして訴えを差し戻した。これを受け、BH検察は25日に

訴状をBH裁判所に再度提出した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●クリシュト閣僚評議会議長のEU・西バルカン首脳会合出席(21日)

21日、クリシュト閣僚評議会議長はギリシャにおいてEU・西バルカン首脳会合に出席したほか、会合のマージンにおいてミツオタキス・ギリシャ首相及びプレンコビッチ・クロアチア首相と会談した。クリシュト議長は、BHにおける民族間差別の解消のため、本年中にもBH選挙法の全面改正及びBH憲法の一部改正を実施するとの強い姿勢を示した。

●クリシュト閣僚評議会議長のブレッド戦略フォーラム出席(28日～29日)

28日～29日、クリシュト閣僚評議会議長はスロベニア政府主催の第18回ブレッド戦略フォーラムに出席し、パネルに登壇したほか、ゴロブ・スロベニア首相及びミシェル欧州理事会議長と会談した。クリシュト議長は、EU加盟に向けたBH閣僚評議会の順調な機能および政治レベルの合意に言及し、本年中のEU加盟交渉の開始の重要性を強調した。

(2) 二国間関係

●ブチッチ・セルビア大統領のRS訪問(3日～4日)

3日～4日、ブチッチ・セルビア大統領がRSを訪問。ドディックRS大統領及びツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー等と会談した他、ユーゴ紛争中の「嵐」作戦追悼行事に出席した。

今般のブチッチ大統領の訪問の枠内において、ブルナビッチ・セルビア首相とビシュコビッチRS首相の間で、第二次世界大戦期にクロ

アチアのヤセノバツツ収容所で犠牲となったセルビア系市民の追悼センター設立に係るMOUが署名された。

●BH大統領評議会メンバーのウクライナ訪問(23日～24日)

23日～24日、コムシッチBH大統領評議会議長及びベチロビッチ同ボシュニャク系メンバーはクリミア・プラットフォーム首脳会合出席のためウクライナを訪問し、ゼレンスキー・ウクライナ大統領及びシュミハリ同首相と会談したほか、ブチャを訪問し、虐殺犠牲者に献花を行った。両メンバーは、改めてロシアによるウクライナ侵略を非難し、ウクライナへの支持を表明すると共に、ボスニア紛争の経験に基づいた戦後復興の支援、両国にとってのEU加盟の重要性等を強調した。

(3) 日・BH関係

●開智日本橋学園高校生徒の日本大使表敬(1日)

1日、海外研修のためにBHを訪問した開智日本橋学園高校の生徒13名が杵渚駐BH日本大使を表敬した。同校生徒は姉妹校であるサラエボ第3高校との交流を行い、歴史や文化等の面での日本との相違、及び平和の大切さを感じている旨発言した。杵渚大使は、生徒の来訪を歓迎するとともに、今回の海外研修が国際関係についての学習や自身の将来に資する貴重な経験となることを期待する旨述べた。



(写真: 杵渚大使と高校生一行)

●令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「交通・郵便・通信事業者のためのサラエボ診療所 X線撮影装置整備計画」引渡式の実施(3日)

3日、杵渚駐BH日本大使は、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「交通・郵便・通信事業者のためのサラエボ診療所 X線撮影装置整備計画」引き渡式に、チュトゥク・サラエボ診療所所長及び診療所の創設者であるジャフィッチBH連邦鉄道公社代表と共に出席した。

日本政府は、サラエボ診療所に対し、X線撮影装置のための 74,863 ユーロ(約958 万円)を供与。本計画は年間約 5,500 名の患者の検査・診断の質向上に寄与し、他診療所とのデータ共有をスムーズにすること等が期待される。



(写真: 供与機材の様子)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2023年7月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比3.1%のプラス。また、前年同月比0.6%のプラス。

●雇用／失業率

2023年6月の失業者登録数は34万6,634人(うち女性20万2,689人)で、前月比0.5%プラス。前年同月比で3.6%マイナス。

●平均給与

2023年6月の平均給与(手取り)は1,267 KMで、前年同月比で0.7%のマイナス。

●消費者物価指数

2023年7月の消費者物価指数は前月比で0.2%のマイナス。また、前年同月比で平均4.0%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比で平均0.9%の低下。

●貿易収支

2023年1月～7月のBHからの輸出総額は106.8億KM(前年比1.2%減)、BHへの輸入総額は159.84億KM(前年比1.2%減)。貿易収支は59.16億KMの赤字。

(2) 経済政策・公共事業

●アフリカ豚コレラの発生状況(11日)

BHにおけるアフリカ豚コレラは、8月10日時点で560箇所(RS463箇所、BH連邦30箇所、ブルチュコ特別区67箇所)の農場で確認され、28,784頭の豚が殺処分となった(RS26,788頭、BH連邦196頭、ブルチュコ特別区1,800頭)。

11日、RS農林水利省は感染が広がっている地域における健康な豚の屠殺及び豚肉の輸送・販売について、豚の頭数の削減及び肉の廃棄数の削減といった観点から、厳格な条件を付した上で承認する決定を下した。

●対BH外国投資の成長傾向(18日)

BH中銀の統計によれば、本年1月～3月の対BH外国投資は総額4億2661万KMであり、昨年同期(2億3766万KM)に比べて80%の増加。主要な投資国はオーストリア(15.4%)、クロアチア(14.6%)、セルビア(13.9%)。昨年の対BH外国直接投資額は過去最高となっており、本年も引き続きの増加傾向。

(3) 経済協力

●BH・モンテネグロの共通電力市場に関するMOU(15日)

15日、BH独立送電システムオペレーター(NOSBiH)及びモンテネグロ送電システム(CGES)両社は、サラエボにおいて両国間の送電インターコネクションの修復及び新規インターコネクションの設置に係るMOUに署名した。本MOUは、将来的な再生可能エネルギーの導入可能性に鑑み、安定した電力供給の実現に向けた協力を目的としたもの。

(4) 民間セクター

●米 Standard and Poor's による信用格付け(8日)

米国の信用格付け機関である Standard & Poor's (S & P)は、本年の信用格付けを発表。BHはBからB+に格上げとなった。S & Pは、BH経済は新型コロナウイルスのパンデミック等の外的要因、政治的不安定等の内的要因に対しても抵抗性を示し、GDP成長率もコロナ禍以前の水準に回復していると評価。対外債務の増加も見込まれず、政治的には緊張の緩和が予想されること等を信用度引き上げの理由としている。